

いえしまDays

7月23日(火) ~ 7月26日(金)

IN 兵庫県立いえしま自然体験センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	オリエンテーション <島での過ごし方>	振り返り
2日目	オリエンテーション <魚の獲り方について>	自給自足生活	振り返り
3日目	自給自足生活	自給自足生活 いかだレース対決	振り返り
4日目	清掃	施設を出発・解散	

一日目： 梅雨も明け、最高の夏日和のもと、キャンプが始まりました。朝早くから各地に集合し、姫路港を目指しました。朝早い為、移動中に休まれている方もおられたり、キャンプが楽しみで談笑されたりしている方もおられました。姫路港にて全員集合し、船に乗り換え、いえしま自然体験センターへ向かいました。船に乗ると潮風が気持ち良く、暑さを吹き飛ばしてくれました。目的の島に到着すると、施設へ歩いて行きます。一つの丘を越えないといけないので、皆で声を掛け合って越えました。そして無事に施設に到着することが出来ました。持参したお弁当を食べ、施設の方から話を聞き、島暮らしの説明を一つずつ確認しました。今回のキャンプは、自分達で一日の過ごし方を決めていただきます。その為に遊ぶ事だけではなく、注意しないといけないこと、貝や魚の獲り方、野外炊飯の流れ、火の起こし方などを学び、実践していきます。今日は貝の獲り方と火の起こし方を学びました。貝はこれからの貴重な食料です。今日はこの貝を使った【貝汁】を作りました。また火の起こし方を学ぶ為に【カレー】を作りました。初めての野外炊飯ですが、明日からは何度も行っていくので、行程の確認をしながら進めていきました。夜は振り返りと翌日のスケジュールづくりを行いました。自分達が出来た事、明日頑張ることを決めました。朝早くから皆動いていましたので、消灯後はすぐに休まりました。



二日目： 目覚めると、涼しく気持ち良い朝を迎えました。今日からのんびり【いえしまDays】の始まりです。起床時間もグループごとに異なる為、朝から周辺散歩に行くグループや、ゆっくりと起きてくるグループ、部屋で話し合っているグループなど、各々過ごしていました。朝食は定番のキャンプ飯、【パックサンド】です。作り方を知っているメンバーもおられるので、教え合いながら楽しく作りました。朝食後は【釣り】の仕方を学びました。釣竿のセッティング方法を知らないと、すぐに糸が絡んでしまうので、皆真剣に聞き、協力して取り組まれていました。準備が整ったらいざ釣り場へ！！釣りは忍耐との勝負です。幸いにも天候は曇りで、風もそれなりにあったので、じっくり取り組むことが出来ました。また、釣りは午後に回して、先に海遊びを楽しむグループもありました。昼食に取り掛かる時間はグループによって異なるので、早く取り掛かるグループもあれば、昼ギリギリまで遊んでいるグループもありました。午後は、ほとんどのグループが休み、海遊びに出掛け、暑さを凌いでいました。夕方頃になると暑さも和らぐことができました。昼食に時間が掛かったグループは少し早めに夕飯づくりに取り掛かっておられました。ゆったり出来るゆえに、ダラダラ過ごしてしまう方がおられます。また、暑さから体も重くなってしまうので、気持ちと相成ると余計重くなってしまいます。そうなってしまったメンバーに周りがどう声掛けをし、サポートしていくかが大切です。明日はグループの動きに対して、より積極的に関わっていきましょう！！



三日目： 今朝はどのグループも起床は遅く、ゆったりとした朝を迎えました。朝食は冷たい素麺を食べました。疲れが出てきているようで、朝食後は海洋センターで、話し合いを含め過ごすグループや、部屋で二度寝をするグループ、朝から元気に海水浴を楽しむグループなど、自分達で考えたスケジュールを過ごしていました。この日の午後は目玉プログラム[いかだレース]があるので、どのグループも早めに昼食に取り掛かりました。昼食を済ませて、準備を終え、おまぢかねの[いかだレース]です。2グループに分かれて、大きないかだを作ります。竹と浮きをロープで結んでいくのですが、初めは結び方が分からず、四苦八苦されていました。友達同士で教え合いながら、なんとか完成させる事が出来ました。そしていざ海へ浮かべ、皆で力を合わせて漕ぎ出すと、少しずつ前に進み始めました。声を出して、タイミングを合わせると更に進みました。豪華景品が懸かっているので、より必死に漕いでいる姿がとても楽しそうでした。夕飯は、いかだレースで得た[お肉]と残った食材をふんだんに使い、いつもよりメニュー数を増やして、料理を作っておられました。メニュー数が増えても調理時間がこれまでに比べて短く、皆の手際よさと調理方法に確かな成長を伺えました。夜は最後の振り返りです。これまでに比べて、より真剣に話し合い、最終日にどうなっていたいかを議論されていました。



四日目： 最終日の朝は、これまでのゆつくりな朝と比べて忙しいです。借りた寝袋やシーツの返却、部屋の清掃に荷物の整理など、やる事が目白押しでした。荷物移動まで終わらせるとようやく朝ごはんです。最後の炊事棟での食事は、これまでに食べた朝食やシリアル、おにぎりをいただきました。朝食を沢山食べた後は、借りた器材や備品を徹底的にキレイに磨きます。これまでの三日間の汚れが沢山付いており、磨き粉を使って磨いていただきました。磨きながら、これまでの思い出を話されている様子が伺え、しっかりと心に残っていると実感しました。昼前には全グループ、磨き終わる事が出来ました。いえしまでの最後の食事は最初で最後の食堂です。これまで散々食事を作ってきた事もあり、食堂でいただくご飯は本当に美味しく、皆黙々と味わいながら召し上がっていただきました。食事を終えるについに施設を出発する時がやってきました。最後に所長さんから話を聞き、集合写真を撮る時の姿は全員初日とは比べ物にならないほど、遅く、笑顔が素敵でした。初日に苦しんだ丘越えも声を掛け合い、難なく越える事が出来ました。船に乗ると、これまでの疲れが押し寄せてきたのでしょうか。ほとんどの方が休まれています。姫路港に到着し、各集合場所で分かれる際、「またね～」、「また会おうな！」と仰っていました。今回の四日間で、友情が芽生えておりました。本当に長い間、お疲れ様でした。



<キャンプ総括>

今年のいえしまは本当に暑かったです。その中でも、大きな怪我や体調不良なく終えられた事が何より嬉しく、皆様に感謝致します。今年のいえしまにおいて、私【はてるま】が嬉し泣きをする時がありました。いえしまDaysにおいて問題提起は日常茶飯事であり、あちこちで話し合いが起こります。その一つの話し合いでの出来事です。ある六年生が肩を落として私の前を通ったので、どうしたのかを聞きました。するとその方は急に泣き出し、理由を尋ねると、「グループのメンバーが真剣に向き合って、話し合いをしてくれない。」との事でした。その方は幼児さんの頃から活動でずっと関わりを持っており、正直、以前は話し合いなんて大嫌いな方でした。すぐにふざけ、問題を起こす方でした。その方からまさかの言葉を聞け、驚きと嬉しさで、目頭が熱くなりました。ずっと彼に訴えてきた事が実を結び、人の成長を何段も上げる事が出来たと思います。いえしまだからこそ出来た事かもしれません。いえしまは人を必ず遅く成長させます。今年よりも来年と、継続した成長を共に創り上げていきたいです。是非とも来年も一緒にいえしまに帰ってきましょう!!お待ちしております。

(竹中 哲郎)